

令和5年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（保健体育）

受験 番号	中保体	氏 名	
----------	-----	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 保健体育編」の「第 3 章 指導計画の作成と内容の取扱い」について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 中学校では、原則として男女共習で学習を行うことが求められている。生徒Aから、「男女別で学習をした方が楽しい」という意見があったので、男女共習の意義を説明したい。なぜ男女共習で学習を行うことが大切なのか、理由を書きなさい。
- (2) 体育分野・保健分野の特質を踏まえ、情報モラル等にも配慮した上で、必要に応じてコンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、学習の効果を高めるよう配慮することが示されている。体育分野の運動の実践において、ICT機器を活用する際、留意する点を書きなさい。

2 第 2 学年の体づくり運動の学習について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 体の動きを高める運動について、家庭で実践できる「用具を用いた運動」を生徒に紹介したい。家庭にある用具を用いた具体的な運動例を、そのねらいもあわせて書きなさい。
- (2) 図 1 で示した運動を生徒へ指導する際、運動の効果を高めるための留意点と運動を安全に行うための留意点を、「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 保健体育編」を踏まえ、それぞれ書きなさい。

<図 1 >



3 第 1 学年の器械運動の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 跳び箱運動のかかえ込み跳びの練習において、踏み切った後、跳び箱の上に両足で跳び乗ってしまい、跳び越えられない生徒がいた。かかえ込み跳びを行う際、「着手」と着手後の「空中姿勢」について、生徒に意識させることを書きなさい。
- (2) 跳び箱運動の発展技の前方倒立回転跳びにつながるように、台上前転の練習を行った。膝を曲げたまま回転している生徒に対して、「膝を伸ばして回るように」と助言した。助言した教師の意図を書きなさい。
- (3) 鉄棒運動において、「逆上がり」－「後方支持回転」－「後ろ振り跳び下り」の連続技に挑戦させた。後方支持回転の練習の際、回転ができない生徒に対して、教師は「大きいタオルを使ってみよう」と助言した。助言した教師の意図を書きなさい。

- 4 第3学年の陸上競技「走り幅跳び」の学習について、下の表1のような単元計画を作成した。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

<表1>走り幅跳びの単元計画

過程	時間(分)	つかむ	追究する				まとめる
		1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
学 習 活 動		あいさつ	健康観察	準備運動	補助運動	めあての確認	
	10	1 オリエンテーション	助走～踏み切りの練習	A 助走～踏み切りの練習(動画撮影)	B 踏み切り～着地の練習(動画撮影)	助走～踏み切り～着地の練習	C 正式な計測方法で記録会を行う(動画撮影)
	20	2 学習の見通しをもつ					
	30	3 用具の使い方や安全面についての確認等	かがみ跳び・そり跳びの練習(動画撮影)	記録を測定する	空間動作・着地動作の練習	試しの記録会を行う	
	40	4 試しの記録を測定する					
50	学習のまとめ		振り返り	片付け			

- (1) 下線部Aの練習において、低い跳躍で砂場に突っ込んでしまう生徒がいたので、ICT機器の画面に体全体が入るような位置で真横から踏み切りの様子を撮影した。撮影した動画を見せながら、適切な踏み切りになるように生徒にアドバイスしたい。教師は、踏み切り姿勢のどの部分に着目し、どのようなアドバイスをするとよいか、書きなさい。
- (2) 下線部Bの練習において、力強く踏み切り、空間動作からの流れの中で、脚を前に投げ出す着地動作を身に付けさせたい。用具（ICT機器を除く）を使った指導の工夫を具体的に書きなさい。
- (3) 下線部Cの記録会において、正式な計測方法で記録会を行うこととし、役割分担の1つとして記録測定係を設定した。記録を計測する際、計測の仕方についての留意点を、「踏切側」と「着地側」それぞれ書きなさい。

- 5 第2学年の球技「ソフトボール」の学習について、下の表2のような単元計画を作成した。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

<表2>ソフトボールの単元計画

過程	時間(分)	つかむ	追究する				まとめる
			1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	
学 習 活 動			あいさつ	健康観察	準備運動	補助運動	めあての確認
	10	1 オリエンテーション ・種目の特性 ・授業の確認 等	1 基本的なバット 操作の練習① ・基本の構え ・にぎる位置 ・足の位置 等	1 <u>A</u> 基本的なバット 操作の練習② ・スイング ・ミートポイント等	1 基本的なバット 操作の練習③ ・スイング ・ミートポイント等	1 基本的なバット 操作の練習④ ・スイング ・ミートポイント等	1 ゲーム
	20	2 用具の使い方 ICTの活用 の仕方、安全 について確認 する	2 走塁の練習① ・かけ抜け ・ベースを回る	2 走塁の練習② ・かけ抜け ・ベースを回る	2 走塁、 <u>C</u> ボール 操作の練習③ ・ベースを回る ・捕球から送球 ・ピッチャーの投球	2 走塁、ボール 操作の練習④ ・ベースを回る ・捕球から送球 ・ピッチャーの投球	
	30	3 単元の見通し をもつ	3 ボール操作の 練習① ・オーバーハンド スロー ・キャッチング ・グラブの出し方	3 <u>B</u> ボール操作 の練習② ・送球と捕球 ・基本の構え ・ゴロの捕球 ・フライの捕球	3 定位置での守 備練習① ・守備位置 ・ポジションの役割と 基本的な動き	3 <u>E</u> 定位置での 守備練習② ・守備位置 ・ポジションの役割と 基本的な動き	
	40		4 簡易なゲーム	4 簡易なゲーム	4 <u>D</u> ルールを工 夫した簡易な ゲーム	4 ゲーム	2 単元のまとめ
50			学習のまとめ	振り返り	片付け		

- (1) 下線部Aの練習において、「バットを軽く振り、ボールを捉えること」ができるようにグループで練習をしたい。用具（ICT機器を除く）を活用した練習方法と安全面で配慮すべき事項を、それぞれ具体的に書きなさい。
- (2) 下線部B、Cの練習において、下のような課題がある生徒がいた。その生徒を指導する際に行う技術的なアドバイスを、それぞれ具体的に書きなさい。
- 下線部Bの生徒の課題
 - ・ゴロの捕球練習で、手を伸ばして捕球したが、ボールがグラブからこぼれてしまい、うまく捕ることができなかった。
 - 下線部Cの生徒の課題
 - ・ピッチャーの投球練習で、投げたボールがキャッチャーの上部に行ってしまった。
- (3) 下線部Dの簡易なゲームにおいて、攻撃を重視した簡易なゲームを展開できるようにしたい。用具の活用以外の視点で、どのようなルールを工夫すればよいか、具体的に2つ書きなさい。
- (4) 下線部Eの練習において、前時を振り返ったところ、あるグループでは「1アウト走者1塁の状況で、2塁手の前にゴロがきたが、1塁と2塁のどちらへ送球すればよいかわからなかった」という課題があった。ICT機器を活用した解決方法について、具体的に書きなさい。なお、1塁、2塁ともベースカバーが入っているものとする。

6 第1学年のダンスの学習について、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」の内容を踏まえて、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) ダンスの知識の内容である「ダンスの特性」について、運動を通して生徒に理解させることが必要である。下のAとBに入る言葉を、ア～オから選び記号で書きなさい。

ダンスの特性では、ダンスは、仲間とともに感じを込めて踊ったり、【 A 】を捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること、【 B 】を豊かにすることを重視する身体表現であることを理解できるようにする。また、現在では、様々なダンスが世代や人種及び障害の有無等を超えて世界の人々に親しまれていることを理解できるようにする。

ア. 様子 イ. 感情 ウ. イメージ エ. 他者とのコミュニケーション オ. 心

- (2) 「現代的なリズムのダンス」の授業において、生徒がヒップホップのリズムの曲で踊る際、リズムの特徴を捉えて動くことが大切である。ヒップホップの「リズム」と「動き」の特徴を、それぞれ書きなさい。また、生徒にヒップホップの動きを理解させるために、どのような指導の工夫をするとよいか、書きなさい。
- (3) 「現代的なリズムのダンス」を指導する際、生徒がリズムに乗って、全身で踊ることができるような曲を選びたい。曲選びのポイントを2つ書きなさい。

7 第3学年の「健康な生活と疾病の予防」について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 「感染症の予防」の学習において、対策の1つである「身体の抵抗力を高める」ことについて、生徒が身近な生活を振り返ることができるよう、具体例を挙げて説明したい。どのような具体例があるか、2つ書きなさい。
- (2) 「感染症の予防」の学習において、感染症を予防するために、自分たちの学校（校内）で取り組むことのできる対策を、具体的に考える学習活動を取り入れることとした。生徒が考える具体的な対策のうち、「感染経路を遮断すること」に関する内容を、2つ書きなさい。
- (3) 「地域の保健機関の役割」の学習で、調べ学習を取り入れることとした。生徒に調べさせる機関名を、2つ書きなさい。また、それぞれの機関の役割の違いを教師が示し、生徒に具体的な保健活動を理解させ、有効利用の必要性について考えさせたい。それぞれの機関の役割について、具体的に書きなさい。

保健体育	解答用紙	2枚中の1	受験番号	中保体	氏名	(5年)
------	------	-------	------	-----	----	------

1	(1)	
	(2)	

2	(1)	
	(2)	(運動の効果を高める留意点)
		(運動を安全に行う留意点)

3	(1)	(着手)
		(空中姿勢)
	(2)	
(3)		

4	(1)	
	(2)	
	(3)	(踏切側)
(着地側)		

保健体育	解答用紙	2枚中の2	受験番号	中保体	氏名	
------	------	-------	------	-----	----	--

(5年)

5	(1)	(練習方法)
		(安全面の配慮)
	(2)	(下線部Bの生徒へのアドバイス)
		(下線部Cの生徒へのアドバイス)
(3)		
(4)		

6	(1)	A	B
	(2)	(リズムの特徴)	
(動きの特徴)			
(指導の工夫)			
(3)			

7	(1)		
(2)			
(3)	(機関名)	(役割)	
	(機関名)	(役割)	

以下はあくまでも解答の一例です

保健体育 解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏名	(5年)
-----------	-------	------	----	------

1	(1)	体力や技能の程度、性別の違いや障害の有無等にかかわらず、仲間とともに学ぶ体験は、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けた重要な学習の機会であるから。 等 (10点)
	(2)	運動実践では、情報手段を補助的手段として活用するとともに、効果的なソフトやプログラムの活用を図るなど、活動そのものの低下を招かないように留意する。 等 (10点)
2	(1)	力強い動きを高めるため、1ℓのペットボトルを持って、腕を前後左右や上下に動かす運動。 等 (10点)
	(2)	(運動の効果を高める留意点) 体のどの部位が伸展や収縮をしているのかを意識できるようにする。 等 (5点)
		(運動を安全に行う留意点) 可動範囲を徐々に広げたり、負荷の少ない動きから始めたりする。 等 (5点)
3	(1)	(着手) 着手では、跳び箱の前方に（遠くに）手を着くように意識させる。 等 (5点)
		(空中姿勢) 空中姿勢では、手を強く突き放し、同時にひざを抱え込むように意識させる。 等 (10点)
	(2)	台上前転で膝を伸ばすことにより、勢いをつけて回ることができるようにするため。 等 (10点)
	(3)	鉄棒と体が離れてしまうことが原因なので、体と鉄棒が離れないようにするため。 等 (5点)
4	(1)	振り上げ脚に着目し、振り上げ脚のももを斜め前方へ引き上げるようにしよう。 等 (10点)
	(2)	踏切板や跳び箱を使って踏み切らせることで、空中での時間をのばし、脚を前に投げ出す着地動作ができるようにする。 等 (10点)
	(3)	(踏切側) 踏切線に対して、メジャーを90度にして計測する。 等 (5点)
(着地側) 踏切板に一番近い痕跡を0とする。 等 (5点)		

以下はあくまでも解答の一例です

保健体育 解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名		(5年)
-----------	-------	------	----	--	------

5	(1)	(練習方法) バッティングティーを設置した練習 等		(5点)
		(安全面の配慮) 柔らかいボールを使用し、練習する場所を決め、周りに人がいないか確かめる。 等		(5点)
	(2)	(下線部Bの生徒へのアドバイス) ボールの正面に回り込み、捕球の際、グラブにもう一方の手をそえてボールが落ちないようにしよう。 等		(5点)
		(下線部Cの生徒へのアドバイス) 腕を前に振り出す際に、キャッチャーミットにボールを置きにくいような感じで振り出してみよう。 等		(5点)
	(3)	ピッチャーはゆっくりとしたボールを投げるようにする。		(5点)
		1塁に進塁したら1点、2塁で2点、3塁で3点、ホームで4点とする。 等		(5点)
	(4)	今までの守備練習や簡易なゲームの動画をタブレットなどで振り返り、1アウト走者1塁、打者がセグンドゴロの場面を抽出し、実技用参考資料の守備の動きと比較・関連させたりしながら課題を解決できるようにする。 等		(10点)

6	(1)	A ウ	B エ	(完答5点)
		(リズムの特徴) 1拍子ごとにアクセントのある細分化されたビートを強調したリズム 等		(5点)
	(2)	(動きの特徴) 縦のりの動き (体全体を上下に動かしてリズムをとる動き) 等		(5点)
		(指導の工夫) 実際に踊って見せたり、動画を見せたりする。 等		(5点)
	(3)	生徒の関心の高い曲		(5点)
		やや速めの軽快なテンポの曲 等		(5点)

7	(1)	栄養状態をよくできるよう食事をしっかりとる。	(5点)
		睡眠時間をしっかりとる。 等	(5点)
	(2)	授業後に必ず5分換気タイムを設ける。	(5点)
		授業後に必ず手洗い・うがいタイムを設ける。 等	(5点)
	(3)	(機関名) 保健所 (2点)	(役割) 食中毒や感染症についての対策など、主に専門的で広い地域にわたる保健サービスを中心に活動している。 等 (3点)
		(機関名) 保健センター (2点)	(役割) 健康相談や健康診断、予防接種など、地域住民に対する身近な保健サービスを中心に活動している。 等 (3点)